

2025年6月3日  
商工中金

## 循環型社会の実現を目指す株式会社明和クリーンに対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した 総額 33 億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（徳島支店）は、株式会社明和クリーン（本社：徳島県三好市、代表者：楠本 隆文）に対し、総額 33 億円のシンジケートローンを組成しました。商工中金がアレンジャーを、徳島大正銀行、四国銀行がコ・アレンジャーを務め、阿波銀行、高知銀行、徳島信用金庫が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資についてはポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社グループは、四国全域で産業廃棄物及び一般廃棄物の処分事業を展開しています。徳島県内に複数の拠点を有し、収集・運搬から最終処分まで手掛ける一貫体制が特長です。

今回同社は、調達した資金を活用し、また地元自治体から整備費の補助も受け、可燃ごみ焼却施設の建設を計画しました。新設する焼却施設でのごみの安定的受入れや CO2 排出量の削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【本シンジケートローンの概要】

組成金額	33 億(コミットメント型タームローン)	
アレンジャー兼エージェント	商工中金	10 億円
コ・アレンジャー	徳島大正銀行、四国銀行	合計 17 億円
参加金融機関	阿波銀行、高知銀行、徳島信用金庫	合計 6 億円
契約締結日	2025 年 6 月 2 日	

# NEWS RELEASE

## SHOKO CHUKIN BANK



### 【株式会社明和クリーンの概要】

所在地	徳島県三好市山城町大和川 697 番地 1
代表者	楠本 隆文
業種	廃棄物処分量
資本金	1,300 万円
従業員数	93 名 (2025 年 3 月時点)
設立	1995 年 8 月



### (※) 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ (UNEP FI) が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

